

令和元年度（2019年度）交付 市民企画事業補助金

成果報告書



八王子市

令和2年（2020年）8月

あなたのまちを。
あるけるまち。
八王子

目 次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	交付事業一覧表	3
4	事業成果報告（成果報告書・収支決算書）	
(1)	動物の適正飼育の啓蒙活動	5
(2)	八王子の森の赤ちゃんカフェ事業	9
(3)	八王子西南部地域における道の駅設置による地域活性化方策の検討	13
(4)	家族で作る素敵なエンディングノート支援事業	17
(5)	グリーンヒルズたより発行	21
(6)	小学生から百歳までを対象とした展示と朗読のイベント「あの頃の国語展 ～小学校国語の教科書で振り返る戦後から今」企画運営事業	25
(7)	外国人の支援・交流事業	29
(8)	一緒に遊ぼう！一緒に創ろう！みはらしプレーパーク@八王子	33
(9)	スマートフォンアプリを使った広報活動	37
(10)	地域内の小規模居場所の運営	41
(11)	「八王子キャットビレッジフェスティバル」	45
(12)	地産地消地活の日本酒「高尾の天狗」 酒米つくりプロジェクト	49
(13)	地域の自然資源を活かした「食」と「アート」の里山マーケット事業	53
5	交付団体連絡先一覧	57

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価について、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

1 市民企画事業補助金の概要

(1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、市がその経費の一部を補助するものです。この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

(2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の3部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、C事業発展部門、合わせて1団体1事業です。

	A 活動支援部門	B 事業実施部門	C 事業発展部門
内 容	この部門では、既に公益的な活動に取り組んでいるが活動基盤が整っていない団体やこれから公益的な活動に取り組もうとする団体が、自らの活動を広く紹介する事業に要する経費を補助します。ただし、計画段階での事業費が5万円以上のものとします。	この部門では、市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するため試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。	この部門では、既に主たる事業で自立運営をし、他団体と交流を有さない市民活動団体が他団体と協力・連携することで、さらなる事業の発展を見込むことができる事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。
補助金額	必要な経費の10分の10 (千円未満切り捨て、上限10万円)	① 必要な経費の2分の1以内 (千円未満切り捨て、上限100万円) ② 2回目以降は対象事業費の1/3以内または前回交付決定額の80%のいずれか低い額。 ただし、事業の性質上、市長が特に認めた場合は、①とします。	① 必要な経費の3分の2以内 (千円未満切り捨て、上限50万円) ② 2回目以降は対象事業費の1/2以内または前回交付決定額の80%のいずれかの低い額。 ただし、事業の性質上、市長が特に認めた場合は①とします。
補助回数	同一団体2回まで	同一の事業に対して3回まで	

(3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、事務局（協働推進課）による応募書類の確認、市の担当課が面接により応募事業の内容確認・評価を行う予備評価及び外部委員で構成される「市民企画事業補助金申請事業評価会議」による評価を行います。

また、応募団体自ら事業の説明を行う「公開プレゼンテーション（『B 事業実施部門』及び『C 事業発展部門』）や、公開プレゼンテーションでの市民からの意見、継続事業については前年度事業の進捗状況などを参考にします。

評価・審査項目は下表のとおりです。

区分	A 活動支援部門	B 事業実施部門	C 事業発展部門
担当課による確認・評価	1. 公益性 2. 期待度	1. 政策合致性 2. 計画性 3. ハ王子らしさ	1. 政策合致性 2. 計画性 3. アイディア性
評価会議による評価	1. 公益性 2. 期待度 3. 補助金交付の必要性	1. 公益性 2. 計画性 3. ニーズの高さ 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性	1. 公益性 2. 計画性 3. 補完性 4. 発展性 5. 補助金交付の必要性

※ この概要是平成31年度（2019年度）交付対象事業についてのものであり、今後変更される可能性があります。詳細は市のホームページをご覧ください。

<市民企画事業補助金のホームページアドレス>

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html>

2 事業成果報告等の経過

〈1〉 公開プレゼンテーション

- 日 時 平成 31 年（2019 年）4 月 13 日（土） 13:30～17:15
- 場 所 生涯学習センター（クリエイトホール）11 階 視聴覚室
- 参加団体 12 団体
- 審査の一環として、事業実施部門及び事業発展部門に応募した全ての団体が、評議会議委員と一般市民の方々の前で、プレゼンテーションを行いました。



〈2〉 成果報告会

※平成 31 年度（2019 年度）に補助金を受け実施した事業における成果報告会について、令和 2 年（2020 年）6 月 27 日（土）に実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止となりました。

3 交付事業一覧表

(単位 円)

区分	回数	事業名	補助対象事業費	補助金交付額
活動支援部門	新	動物の適正飼育の啓蒙活動	107,028	100,000
	新	ハ王子の森の赤ちゃんカフェ事業	106,198	100,000
	新	ハ王子西南部地域における道の駅設置による地域活性化方策の検討	105,521	100,000
	新	家族で作る素敵なエンディングノート支援事業	107,910	100,000
	新	グリーンヒルズたより発行	104,276	100,000
	新	小学生から百歳までを対象とした展示と朗読のイベント「あの頃の国語展～小学校国語の教科書で振り返る戦後から今」企画運営事業	103,628	100,000
	②	外国人の支援・交流事業	117,347	100,000
	②	一緒に遊ぼう！一緒に創ろう！みはらしプレーパーク@ハ王子	125,651	100,000
	②	スマートフォンアプリを使った広報活動	100,000	100,000
	小計		977,559	900,000
事業実施部門	新	地域内の小規模居場所の運営	1,017,289	508,000
	新	「ハ王子キャットビレッジフェスティバル」	2,013,352	1,000,000
	新	地産地消地活の日本酒「高尾の天狗」 酒米つくりプロジェクト	2,188,106	1,000,000
	小計		5,218,747	2,508,000
事業発展部門	新	地域の自然資源を活かした「食」と「アート」の里山マーケット事業	767,711	500,000
	小計		767,711	500,000
	総計		6,964,017	3,908,000

4 事業成果報告

(成果報告書・収支決算書)

平成31年度（2019年度）市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	動物の適正飼育の啓蒙活動		
団体名	八王子わんにゃんクラブ		
事業費	107,028円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 八王子市保健所には市民より動物に関する苦情がたくさん寄せられ、それは住民トラブルの一因となっている。適正飼育をすることにより、地域環境を改善し、地域の方々が快適に暮らせるようになる。子供たちにも、動物とふれあいながら、正しい知識を持ってもらい、動物にやさしい大人になって欲しい。そして、八王子の殺処分ゼロを目指す。
	内容 当団体主催のイベントから、他団体主催のイベントに参加させてもらい、さらに、ホームページも有効に利用して啓蒙活動を行う。ドッグショーや子供向けのわんちゃん・ねこちゃんとのふれあい体験、犬のしつけ教室などを通して、地域住民との交流をはかり、大人から子供まで、みんなで動物愛護について考える。

事業の活動実績	5月12日 保護犬の譲渡会（ちばわん主催）に市内の猫の保護団体の紹介という形で参加。 こどもニュース創刊号900部発行 八王子市内全市民センター（18か所）、全事務所（14か所）など、市内全66か所に配布
	6月1日 都立 陵南公園での『愛犬のしつけ教室+防災』に市内で活動しているボランティア団体として参加
	8月4日 第1回 こども向け ドッグショーとわんちゃん・ねこちゃんとのふれあい体験を元八王子町の野下歯科にて開催 参加者7名
	11月16, 17日いちょう祭りに出店。 こどもニュース Vol.2 900部発行 八王子市内全市民センター（18か所）、全事務所（14か所）など、市内全66か所に配布
	11月29日～12月1日 『小さな命の写真展』に参加
	12月5日 犬のマナー教室 カフェ編を八王子駅北口のレストラン『はなづか』にて開催 7組の飼い主さんとわんちゃんが参加
	12月26日 第2回 こども向け ドッグショーとわんちゃん・ねこちゃんとのふれあい体験を元八王子町の野下歯科にて開催 参加者4名



第1回 こども向けドッグショーとわんちゃん・ねこちゃんとのふれあい体験



こどもニュース Vol.2 Vol.2

様式9（2枚目）

事業の成果・効果	<p>2月より、市民活動支援センターの『プロボノ』を利用して、ホームページの製作に取りかかり、4月に完成した。これにより、より多くの方に当団体の活動報告や啓蒙活動を行えるようになった。さらに、会計管理も『プロボノ』で教えてもらい、正確な会計管理が行える環境が整った。</p> <p>今年は独自のイベントもさることながら、他団体にお声がけをいただき、幅広い活動を行うことが出来た。5月の保護犬の譲渡会では、保護犬を飼おうと思うような動物愛護に関心のある方々でも、地域猫活動は知られていないことを実感した。6月の陵南公園のしつけ教室は、八王子市保健所と一緒に参加し、地域猫活動のPRを行った。さらに地域猫セミナーも八王子市内の4つのボランティア団体が協力して開催する事が出来た。</p> <p>8月と12月には、こども向けドッグショーとわんちゃん・ねこちゃんとのふれあい体験を開催し、ドッグトレーナーの伊藤さんに、8月は『正しい犬との接し方』を、12月には『犬を飼う前に知っておいてほしい事』を分かりやすく説明していただいた。</p> <p>11月には『いちょう祭り』に出店したり、八王子で初めて開催された『小さな命の写真展』にも参加した。12月5日には八王子市内で、もっと犬OKのレストランやカフェが増えて欲しいという思いから、それには、店内での犬のマナーが良い事が必須と考え、犬OKのレストランに協力してもらい、『犬のマナー教室 カフェ編』を開催した。</p> <p>この様に、たくさんの人と繋がり、協力しながら、動物愛護を進めて行く事が出来た。</p>										
	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>										
	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>効果を表す指標</th> <th>八王子の犬猫の殺処分数</th> <th>本年度目標値</th> <th>10</th> <th>本年度実績値</th> <th>9</th> </tr> </thead> </table>						効果を表す指標	八王子の犬猫の殺処分数	本年度目標値	10	本年度実績値
効果を表す指標	八王子の犬猫の殺処分数	本年度目標値	10	本年度実績値	9						

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>										
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>										
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<table border="1"> <thead> <tr> <th>効果を表す指標</th> <th>八王子の犬猫の殺処分数</th> <th>本年度目標値</th> <th>10</th> <th>本年度実績値</th> <th>9</th> </tr> </thead> </table>						効果を表す指標	八王子の犬猫の殺処分数	本年度目標値	10	本年度実績値
効果を表す指標	八王子の犬猫の殺処分数	本年度目標値	10	本年度実績値	9							
その他、評価すべき点等	<p>1 ほとんど同じ 2 少少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>独自のイベント以外に他団体から、様々なイベントへお声がけをいただき参加した。</p>											

今後の事業展開	当団体の独自の企画も進行させながら、他団体との協力体制をさらに強固にして行きたい。一つ一つのイベントを更に良くするために、幅広い人たちから意見を出してもらい、実現して行きたい。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	動物の適正飼育の啓蒙活動	
団体名	八王子わんにゃんクラブ	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1 市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2 その他助成金収入		
3 事業による収入 ()	会費 こども会員 7名	3,500
4 団体運営費からの繰入金		3,528
5		
6		
合計		107,028
支出の部		
1 消耗品費		¥3,654
2 印刷製本費		¥22,224
3 謝礼・報酬		¥31,000
4 会場借上料・使用料		¥23,000
5 宣伝費		¥15,000
6 通信費		¥12,150
7		
8		
9		
10		
合計		¥107,028

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成31年度（2019年度）市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子の森の赤ちゃんカフェ事業		
団体名	特定非営利活動法人かぶかぶ山のようちえん		
事業費	106,198円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 0歳の赤ちゃんの頃から、親子でともに八王子の自然の中でのびのび遊べる場をつくることで、八王子で子育てをしていることが誇らしく、嬉しくなるような日を増やしていく。
	内容 自然の中での 0 歳児親子のふれあい交流事業により、八王子ならではの豊かな自然を生かして、子どもを生み・育て、将来にわたり暮らし続けたいまちを実現する。 ●季節ごとの自然を感じる手遊び、絵本の読み聞かせ、こどもたちが自然に自由に触れてゆったりと楽しむ時間を持つ。 ●保護者は保育者とともに見守りながら、自身も自然に触れて楽しむ。 ●保育者の見守りのもと、親がお茶やお菓子を楽しみながら親同士、保育者との対話の時間を設け、ともに育児の悩みを話し合いながら、リラックスできる時間を作る。

事業の活動実績	本事業は、八王子の森の赤ちゃんカフェを年度内に2回（9月・3月）実施する予定で進行した事業である。 ●第1回目（9月）：母子ペア 11 組＋父親 2 名（4か月～1歳8ヶ月）の参加。活動場所は滝山城址。子育て支援センターなどでチラシを見ての申し込みが多かった。スタッフは9時半に現地に入り、荷運びや下見を行った。参加者が 10 時半に駐車場に集合。登山口にて朝の会を実施。絵本を読み自己紹介をしてもらって空気が和んだ。登山開始後はペアワークを取り入れて何人かの初対面の方とも子育ての話ができるよう配慮。歩行速度はまちまちだったので、各スタッフがつき、子育ての話について話題を広げた。おやつ、昼食と広いスペースでのびのびと遊びが広がった。山頂では記念撮影も行い、終わりの会をして、帰りは眠い子やまだ遊びたい子などそれぞれのペースに合わせて下り、解散した。雨天時は前後の着替えや昼食をとる場所として、加住市民センターの部屋を予約したが、実際は晴天で使用しなかった。 ●第2回目（3月）：実施について、チラシの印刷及び消耗品等の準備を円滑に進めてきたが、3月になり八王子市の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関する対応が出たことを受けて、3月に実施向け準備を進めてきた「八王子の森の赤ちゃんカフェ」を延期することにした。それに伴う、歳入では事業収入の減、歳出では、謝礼・報酬及び消耗品費の減が生じた。本事業の対象外とはなるが、4月以降感染拡大状況が落ち着き次第、当法人の独自事業として改めて開催することを検討している。 ●1回目から2回目までの半年間にも参加したいとの声もあり、より開催頻度を多くしても参加者は集まり、自然体験の機会が広げられたのではないかと考える。
---------	---



様式9（2枚目）

事業の成果・効果	<p>成果目標としていた参加者アンケートの満足度50%、リピート率（9月参加した方の3月の申し込み率）50%に対しては、<満足度87.5%、リピート率68.8%>と達成できた。</p> <p>感想として以下のような声をいただきしており、事業の目的を達成できたのではと考えている。</p> <p>【参加者からの声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか外で遊ばせるきっかけがなかったので、参加してよかったです。スタッフのみなさんの細かやかな計画、準備のお陰で、安心して楽しむことができました。子どもも自然に触れ、刺激になったと思います。母もいい運動、リラックスすることができました。ありがとうございました。 <p>（6ヶ月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても素敵でした。こどもに初めて青空を仰がせて、草の上に寝かせて、草を触らせて。親も心から窓いだ笑顔になられました。こんな素敵なイベントとかぶかぶ山のスタッフの方々に出会えて、嬉しいです。またぜひ参加させていただきたいです。（4ヶ月） ・初めて参加したのですが、私も娘も凄く楽しめました。娘を連れて、山に1人では出かけられないので、いい経験が出来ました。娘は小さいので、山に行くのは無理かなと思っていたんですが、意外と大丈夫でびっくりしました。休日にパパとも滝山公園や高尾山にお出かけしようと話しています。スタッフの方や参加されたみなさんいいかたばかりで、本当にいい時間でした。青梅は、少し遠いので八王子にも、やまのようちえんがあればいいなあと思いました。次回もぜひぜひ参加させてもらいたいです(o^o)3月と言わずに来月とかにあつたら嬉しいなあ～と思います。楽しい時間をありがとうございました。（1歳1ヶ月） ・赤ちゃんのペースでのんびりゆったりとしていて、居心地良かったです。自然の中に子供と行こうと思うと、1人だとなかなか腰が重くなるので、こうして仲間が作れるといいなと思いました。また、スタッフの皆さんがたくさん話しかけてくれて、すんなり場に馴染めました。（9ヶ月） 					
	<p>事業は申請どおり実施できた</p> <p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p> <p>第2回が新型コロナウィルス感染拡大防止のために中止となったため。</p>					

自己評価	<p>事業の実施によって、期待した効果をあげることができた</p> <p>（応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）</p> <p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p> <p>第2回が新型コロナウィルス感染拡大防止のために中止となったため。</p>									
	<p>効果を表す指標</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者アンケートの満足度、リピート率（9月参加した方の3月の申し込み率）</td> <td>本年度目標値</td> <td>満足度50%、リピート率50%</td> <td>本年度実績値</td> <td>満足度87.5%、リピート率68.8%</td> </tr> </table>						参加者アンケートの満足度、リピート率（9月参加した方の3月の申し込み率）	本年度目標値	満足度50%、リピート率50%	本年度実績値
参加者アンケートの満足度、リピート率（9月参加した方の3月の申し込み率）	本年度目標値	満足度50%、リピート率50%	本年度実績値	満足度87.5%、リピート率68.8%						
<p>実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について</p> <p>1 ほとんど同じ 2 少少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>第2回が新型コロナウィルス感染拡大防止のための中止により、人件費や消耗品費が減少している。</p>										
<p>その他、評価すべき点等</p>										

今後の事業展開	2020年度は法人として、月1回程度八王子にて自然体験活動の場を開催することとした。活動場所の開拓、参加者への広報など、今後とも八王子市市役所および関係する皆様と協働しながら、赤ちゃんからの親子自然体験事業を通して、より親子がのびのびと自然の中で遊べる社会づくりをしていきたい。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	八王子の森の赤ちゃんカフェ	
団体名	特定非営利活動法人かぶかぶ山のようちえん	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1 市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2 その他助成金収入		
3 事業による収入 (参加費)	(親子ペア1800円×11組+追加大人(父)1000円×2人)× 1回	30,800
4 団体運営費からの繰入金		
5		
6		
合計		130,800
支出の部		
1 消耗品費	ネームプレート(フェルト・安全バッジ・マスキングテープ) 計648円 参加者菓子費300円×20個×1回=6000円	¥6,648
2 印刷製本費	チラシ制作印刷費※デザイン費込 110円×300部×2回	¥66,000
3 謝礼・報酬	スタッフ謝礼(打ち合わせ1時間・事前下見2時間・當日前後準備含めて4時間・交通費含・全員保有資格又は社会福祉士資格有)10,000円×3名×1回	¥30,000
4 会場使用料	雨天時用市民センター施設利用費750円	¥750
5 クリーニング費	赤ちゃん用レジャーシートクリーニング費2800円	¥2,800
6		
7		
8		
9		
10		
合計		¥106,198

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成31年度（2019年度）市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子西南部地域における道の駅設置による地域活性化方策の検討		
団体名	<u>館ヶ丘自治会</u>		
事業費	105,521円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 八王子市西南部地域の活性化を目指し、新規に同地域道の駅の開設に向けた検討を行う。
	<p>1. 地域住民及び学生の知識・理解を深めることを目的とした意見交換の場を設け、検討会を定期的に開催する（計5回程度）。</p> <p>2. 具体性を検証するため、簡易的な道の駅設置の実験を1日程度実施する。</p> <p>3. 参加者の合意形成を図りつつ、検討会の議論や実験結果を踏まえた事業計画に向けた基本計画（マスタープラン（MP）案）を策定する。</p> <p>4. シンポジウム形式で活動発表を行う（1回）。</p>

事業の活動実績	<p>1. 地域住民と大学生を交えた意見交換、検討会は10回開催した。広く参加を呼び掛けた企画をほぼ3ヶ月ごとに実施して、道の駅開設への関心を喚起してきた。 6/23 道の駅についての講演会(拓大徳永教授)。</p> <p>2. 9/22には道の駅高尾（仮称）の一日社会実験を団地で開催して200名の参加と83名のアンケートを回収した。</p> <p>3. マスタープランの作成は出来なかったが、道の駅をイメージしてもらえる完成予想図パースを拓殖大工学部学生の協力で作製した。</p> <p>4. 12/1には講演会「高尾の交通について」（拓殖大学武田准教授）と中間報告会を開催、団地外の個人団体、市議会議員の参加で参加の輪が広がりつつある。 2020/3/5にはワークショップ・懇談会という形式で論議を深めて、その後年間報告書を作製した。</p>



様式9（2枚目）

事業の成果・効果	<p>年間を通じて自治会の広報紙（毎月2,400部発行）、「はちコミねっと」でのSNS発信で道の駅の企画などの宣伝をしてきたので「道の駅あつたらいいなあ」と言う声は広がっている。とりわけ高尾山の観光資源を生かす道の駅という地域特徴を生かした提案は受け入れられていると思われる。</p> <p>9/22 一日社会実験は初めての経験でおつかなびっくりだったが、道の駅をイメージしてもらえた。地元野菜、山梨の道の駅南きよさと協力での果物販売、高尾山名物の団子や八王子クレープ、団地住民の手作り作品などで当日にぎわった。</p> <p>地域の活性化を掲げてきたが、この道の駅活動で拓殖大学の学生さん（国際学部徳永研究室と工学部工藤研究室）が高齢化した団地にかかわることで、世代間交流できた。団地の広場や商店街で大きな企画ができる「楽しかったよ、次いつやるの」との声が寄せられている。</p>				
	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>				
	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>				

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>				
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>				
	効果を表す指標	"1. 検討会の参加者数 2. アンケート結果 3. 企画書の作成"	本年度目標値	"1. 計200名 2. 建設を希望する(70%)"	本年度実績値	1.計230名 2.希望70%
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ② 少少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>活動費の予算と実績で項目によっては差異が出た。会場費は最終報告会が新型コロナウイルス感染症の影響で縮小して懇談会に切り替えたため会場費が少なく済んだ。社会実験の出店業者からの収入を計画したが、出店料をもらわなかつた。全体として報告集の作成に力を入れた事で、予定よりも多い支出となつた。</p>				
	その他、評価すべき点等					

今後の事業展開	団地住民の関心が広がっているが、西南部地域や地元農業者や事業者への宣伝やネットワークづくりへの取り組みが遅れている。引き続き、今年度かかげた課題の深化を図り、ネットワークづくり、マスターplanづくりのための来年度はA部門へのエントリーをしたい。
---------	---

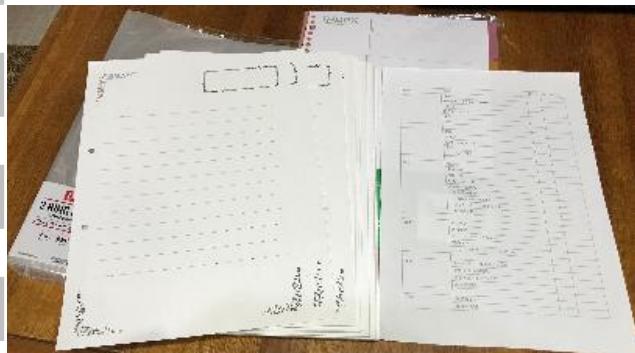
市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	八王子西南部地域における道の駅設置による地域活性化方策の検討	
団体名	館ヶ丘自治会	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	100,000
2	その他助成金収入 館ヶ丘自治会からの補助金	5,521
3	事業による収入 ()	
4	団体運営費からの繰入金	
5		
6		
合計		105,521
支出の部		
1	消耗品費 7・10コピー用紙(1614円) 7・23電池単3(216円) 7・29A4フラットファイル(432円) 9・6カラーコピー(400円) 9・21カセットボンベ(312円)、11・25プリンターインク代(6116円) 12・25コピー用紙(1644円)、 3・4付箋(550円)、3・4模造紙(251円)、3・27コピー用紙(2750円)	¥14,285
2	印刷製本費 11・27中間報告書(18520円)、3・24最終報告書(38426円) 2・21カラーコピー(400円)	¥57,346
3	謝礼・報酬	
4	会場借上料・使用料 9・20道の駅社会実験会場費(2520円)、11・18中間報告(1440円)、2・21懇談会(1440円)	¥5,400
5	交通費 別添明細書のとおり(および請求明細・領収書のコピー添付)	¥23,840
6	通信費 12・2(700円)、3・31報告集郵送(3950円)	¥4,650
7		
8		
9		
10		
合計		¥105,521

平成31年度（2019年度）市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	家族で作る素敵なエンディングノート支援事業		
団体名	とうゆう会		
事業費	107,910円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 高齢者の認知症の進行、急病、不慮の事故によりコミュニケーションが不可能となった場合、遺言書では表現できない個人の意思を、あらかじめエンディングノートに記載しておくことにより、本人、家族、介護・医療機関、行政にとってさまざまな効果が期待できる。本事業は、家族や第三者が高齢者のエンディングノートの作成に関わることにより、エンディングノートの完成度を高め、ひいては、医療、介護現場での対応の明確化や、死後のトラブルの未然防止などを目的とする。
	内容 家族と一緒に作るエンディングノートの作成支援事業を行う。 ・家族と一緒に作るエンディングノートの作成支援を行う手法を明確化し、効果を測定する。 ・第三者による書き書きの手法でのエンディングノート作成プロセスの構築 ・「家族で作る素敵なお手本ノートの作り方講座」の実施（全2回） ・受講生によるエンディングノート作成と、ノウハウの共有。 ・家族で作るエンディングノートのパターン事例集と実施家族のアンケート結果を公表する。
事業の活動実績	1. 講師を依頼した終活カウンセラー立石氏による「とうゆう会」メンバーへのエンディングノートレクチャーを実施 2. 講座内容の決定と、バインダ式エンディングノート材料の選定と購入 3. 第1回と第2回の講座実施日の決定とチラシの作成（100部）、広報活動 4. 7月24日、第1回講座 参加者 20名 会メンバー 6名 見学者 1名 5. 8月19日 第1回講座欠席者のためのビデオ補講 参加者 5名 会メンバー3名 6. 9月4日、第2回講座 参加者 19名 会メンバー 6名 7. 講座実施報告 はちコミねっと https://bit.ly/2CD1c63 8. 講座の結果まとめ 9. 告知用報告書（小冊子）印刷 32ページ 印刷部数 100部



様式9（2枚目）

事業の成果・効果	<p>今回の事業を通して、以下のような成果が得られた。</p> <p>★得られた知見・ノウハウ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バインダ方式のエンディングノート内容および利点を受講生およびメンバーが理解した。 ・本人が記述するエンディングノートと親に書かせるエンディングノートの2つのニーズが存在する。 ・年代別に興味が分かれており、比較的若い層には健康や終末医療に、老人クラブに所属するような高齢者には相続や葬儀・墓に高い関心があることが分かった。 ・特養入居者および施設管理者にはエンディングノートへの関心はあまり見られなかった。 ・約60項目の記載項目を紹介したが、「我が家のかみ、料理レシピ」など家庭内のノウハウ継承などの項目の必要性が指摘された。 <p>★総括</p> <p>家族参加申込は2組だけで、また書いた内容を家族と相談した参加者も多くはなかった。しかしながら「いつか書かなくては」と考えているシニア・高齢者はかなり多く、「書き始める良いきっかけが得られた」との評価をいただいた。</p> <p>地域におけるエンディングノート講座は、「これまでの人生の棚卸」「必要な情報の伝達」「これから的人生の充実」などの認識を市民に啓蒙するところに、最大の意義があることが分かった。また個別の相談事項として司法書士など専門家の助言が必要になるケースが見受けられたが、行政相談窓口や、地域で信頼のおける士業の方々に繋ぐノウハウが今後必要になると考えられる。特にコミュニケーションが少ない独居高齢者には有効な手法と考えられる。</p>				
	<p>事業は申請どおり実施できた</p> <p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>				

自己評価	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 少少の変更があった 3 大幅に変更している
	その他、評価すべき点等	当初、八王子東南部地区を対象に受講生を募集したが、市内遠方からの参加者もあり、定員を超える人数が集まった。このテーマの市民の関心の高さが見て取れた。
		主な理由（3、4と答えた場合のみ）

今後の事業展開	<p>八王子の医療機関もエンディングノートと同様の取り組みを始めており、エンディングノートの重要性認識はかなり市民等にも広がりつつある。多くの市民がエンディングノートに着手することが、高齢化社会を見据えて今後ますます重要になると思われる。</p> <p>「エンディングノートを書き始めるきっかけを作る講座」と、実際に書いた市民に「専門性を持って個別の問題に対処できる窓口」へ繋ぐことは市民の満足感を満たすと思われ、東部地域だけではなく、八王子全域において「エンディングノートを書くきっかけを作る講座」として広めていきたい。それを「はちおうじ志民塾」の卒塾生とも連携して展開できるような講座実施テンプレートとして普及させたい。</p> <p>事業性としては、市の助成金に加えて、有償の講座とすることで運営費を捻出し、継続的な事業とできると考える（アンケート結果より）。</p>	

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	家族で作る素敵なお絵かきノート作成支援事業	
団体名	とうゆう会	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1 市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2 その他助成金収入		
3 事業による収入 ()		
4 団体運営費からの繰入金		7,910
5		
6		
合計		107,910
支出の部		
1 消耗品費		28,077
2 印刷製本費		25,515
3 謝礼・報酬		33,000
4 会場借上料・使用料		9,750
5 交通費	別添明細書のとおり (明細を添付してください)	10,880
6 通信費		688
7 その他		0
8		
9		
10		
合計		107,910

あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成31年度（2019年度）市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	グリーンヒルズたより発行		
団体名	グリーンヒルズたより 編集部		
事業費	104,276円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 団地が出来て30年経ち、住民アンケートの結果、地域に愛着がある方や将来も住み続けたいと考えている方が大多数いる一方で高齢化が50%を越え、移動や買物を含め支え合いが必要になっている。住民、高齢者や孤立化した子育て世代等に向けた情報を発信する。各プロジェクト間での壁を越えて団地での情報を共有する事で地域を活性化する。
	内容 グリーンヒル寺田・パークヒルズめじろ台の地域において住民一人一人が幸せに暮らせる街づくりを目指し、交流イベントや住民の支え合い活動等の情報を取材して発信する。当面年4回発行し、団地内約1,750世帯に全戸配布する。

事業の活動実績	『グリーンヒルズたより第1号』発行 平成31年4月配布 A3横カラー 配布数：1,729部 ・住民一人ひとりが幸せに暮らせる街に！ 住民たちが暮らしているまちを再確認できるよう空からグリーン・ヒルズ全体を見わたす地図とイラストを前面カラーで大人から子供まで手元に保存して楽しめるよう印刷した。
	『グリーンヒルズたより第2号』発行 令和元年8月配布 A3横両面カラー 配布数：1,736部 ・もっと知りたい商店街のご案内！ 以前は賑わっていたグリーンヒル寺田団地商店街もシャッターが目立つようになったため、商店街の活性化を目的に各店舗を訪問し、お店とその人柄を紹介した。 ・第1回グリーンヒルズふっとばすの報告 開催日：4月20日 参加者：30名 「グリーンヒルズふっとばす」が企画した第1回目のイベント『いっしょに団地を歩きましょう！！』としておひさま広場に集合し、パークヒルからグリーンヒル寺田第1住宅を歩く。しだれ桜や様々な植物、団地内やその周辺の自然豊かな景観を楽しんだ。
	夏祭りにうちわを作り販売 令和元年8月24日（土）販売数：1枚200円 117枚 ・うちわの表「We★Love Green★Hills」うちわの裏「グリーンヒルズ讃歌」 手に取ってもらえるうちわにイラストとメッセージを入れた。緑に囲まれたこのまちに愛着をもってほしいという趣旨。
	『グリーンヒルズたより第3号』発行 令和元年10月配布 A3横両面カラー 配布数：1,733部 ・お楽しみサロン&サークルご紹介 9カ所の会場で自主的に開催されている集いの場を地図でわかりやすく紹介した。 ・第2回グリーンヒルズふっとばすの報告 開催日：7月10日 参加者：48名 おひさま広場に集合し、緑深い雑木林の尾根道をグリーンヒル寺田第5住宅から法政大学多摩キャンパスまで、きのこに詳しい方から植物の説明を聴きながら歩く。法政大学多摩地域交流センターの方々や学生たちの協力でキャンパス内を案内していただき交流を深めた。



グリーンヒルズたより第1号



様式9（2枚目）

事業の成果・効果	<p>①当団地は約1,750世帯が居住していて6つのブロックに分かれ、それぞれが活動しているが、この「グリーンヒルズたより」を全世帯に戸配したので団地内の情報を共有することが出来、住民としての親近感が生まれた。</p> <p>②毎号の各戸配布にあたり、各管理事務所のスタッフにお世話をなったり、自分たちで配布したブロックでは住民の方々が手伝ってくれたり、又「グリーンヒルズたより」の内容を共有することで地域交流が活性化した。</p> <p>③高齢者あんしん相談センター寺田や法政大学地域交流センターの協力のもと2回実施したイベント「ふっとばす」（団地を歩く会）を「グリーンヒルズたより」で広報することにより参加者が増え、各ブロック間の壁を越えて住民同士の交流が生まれた。</p> <p>参加者数：第1回（約30名）、第2回（約48名）</p> <p>④「グリーンヒルズたより」の記事で自分達が暮らしている地域について知らなかった情報を得ることが出来、この地域のすばらしさを再確認できてシビックプライドの向上に効果があったのではと思う。</p> <p>⑤住民の声：第1号「イラストマップで初めて全体の地形がわかり、改めて自分たちが素晴らしい環境に住んでいることを実感した。」第2号「体調が悪く外出できないが商店街の記事を読んで、以前よく買物に行っていた頃を思い出してとても懐かしかった。」第3号「団地内にいろいろ楽しそうな集まりがあることを知ったので参加してみたい。」ふっとばす参加者「一人では歩けない地区をみんなで歩け、団地内の珍しい植物や美しい場所を知ることができた」「地区を超えていろいろな方と知り合え楽しみが増えた。」「お隣の法政大学やキャンパスのことがわかったので学食や図書室を利用したい。」その他「毎号かわいいイラストや優しい文章に癒され次号が楽しみです。」</p>				
	<p>1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>				

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった	主な理由（3、4と答えた場合のみ）			
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった	主な理由（3、4と答えた場合のみ）			
	効果を表す指標		本年度目標値		本年度実績値	
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 少少の変更があった 3 大幅に変更している	主な理由（2、3と答えた場合のみ） ・年4回発行予定が3回になった。 ・イベントでの収益（団地夏祭りのうちわ販売）があった。			
	その他、評価すべき点等	当初は団地内での回覧や掲示を行う予定であったが補助金交付を受けられたので団地住民に全戸配布することが出来た。				

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	中心になって活動していた編集部員が本人の仕事の都合で活動を続けられなくなつたため「グリーンヒルズたより」の発行は今年度の3回になったが、新たなビジョンが決定した時点で又、広報活動を再開したいと思っています。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	グリーンヒルズたより発行	
団体名	グリーンヒルズたより 編集部	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1 市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2 事業による収入	「夏祭りうちわ」販売収 @200円×117枚=23,400円	23,400
3		
4		
5		
6		
合計		123,400
支出の部		
1 消耗品費	ソフト名札名刺サイズ吊下(648円)、プリンターインク代(7,000円)	¥7,648
2 印刷製本費	第1号印刷代(8,964円)、第2号印刷代(12,903円)、第3号印刷代(12,681円)、夏祭りうちわ印刷代(28,080円)	¥62,628
3 謝礼・報酬	第1号企画料(10,000円)、第2号企画料(10,000円)、第3号企画料(10,000円)	¥30,000
4 会場借上料・使用料	6月12日おひさま広場使用料(2,000円)、12月4日:おひさま広場使用料(2,000円)	¥4,000
5		
6		
7		
8		
合計		¥104,276

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

様式9（1枚目）

平成31年度（2019年度）市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	小学生から百歳までを対象とした展示と朗読のイベント「あの頃の国語展～小学校国語の教科書で振り返る戦後から今」企画運営事業		
団体名	中村劇場 市民活動部会		
事業費	103,628円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 少子高齢化、ライフスタイルの変化、結婚しない男女の増加などにより、絶滅危惧に瀕している三世代同居世帯を、模倣した展示に工夫し、来場者には三世代を疑似体験、その良さや価値、家族のすばらしさへの理解・共感を得ることを目指す。また、高齢者が若い世代の話を聞く、若い世代が高齢者の話を聞く機会と場を、ボランティアや福祉とは違うスタイルで創出することを目的とする。
	内容 小学生から百歳までを対象とした展示と朗読のイベント「あの頃の国語展～小学校国語の教科書で振り返る戦後から今」を開催し、子どもから高齢者まで、展示を見ながらそれぞれの世代の時代や経験を話す場またはそれを聞く場にし、戦後生まれの日本人の誰もが接点を持つ小学校の国語教科書を軸に、世代の違いや時代の流れを楽しく知るきっかけを提供する。

事業の活動実績	【イベント開催】 名称：高尾朗読まつり 日時：2020年3月20日（金・祝）、21日（土）、22日（日）各日午後1時～午後5時30分 会場：大光寺（八王子市初沢町1352） 概要：声に出て読む・伝えることで、“世代を超えて市民がつながること”を目指した、市民朗読まつり。6歳から80代までの市民が出演する「日替わり朗読会」と、屋外開催の「夜桜朗読会」、および戦後間もない頃の小学校国語の教科書の展示と、朗読会で紹介された作品をはじめ、落語、絵本、物語や詩集などの古本を販売する「声に出て読みたくなる展示と古本市」を併催。 ★新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、規模縮小・内容変更の上、下記の通り実施した。 ●高尾朗読まつり 2020動画配信（YouTube） https://www.youtube.com/channel/UCMjJgrlxIjei5Fh-EAhIqJg 配信日時：3月20日（金・祝）から3月25日（火）まで、各日午後1時 チャンネル名：高尾朗読まつり 2020 累計視聴数：290（3月31日現在） ●日替わり朗読会および動画配信（YouTube） 開催日：3月22日（日）無観客制 会場：大光寺本堂内 出演者：市民朗読グループ“ミューズ”、“ひのたま王子”（子供含む4グループ出演中止） 朗読作品：「八王子の昔ばなし」、「葉っぱのフレディ」、浅田次郎「姫椿」など ＊録画した朗読会を3月24日と3月25日に動画配信（YouTube） 累計視聴数：160（3月31日現在） ●夜桜朗読会 開催日：3月21日（土）午後6時～6時30分 会場：大光寺本堂前（屋外） 出演者：中村劇場 作品：夏目漱石「夢十夜」、芥川龍之介「杜子春」 ＊参加する際は、「他者との間隔をとり、マスク着用」をHP等で事前要請 参加者：約50名 ●声に出て読みたくなる展示と古本市 開催日：3月20日（金・祝）～3月22日（日） 展示資料：国立国語研究所貸与 古本市開催協力：げんせん館、むしくい堂 入場規制実施（入場時の手洗い、マスク着用、また混雑時は入場人数調整） 累計入場者数：累計40名 ＊採択時、「継続的な活動とするために、実施場所の再検討を進めていただきたい」と指摘されたため、過去5年間当団体が月例朗読会を継続開催している大光寺（八王子市初沢町・JR/京王線高尾駅から徒歩5分）に企画趣旨を説明し、イベント開催会場として寺内施設使用許可の依頼を行った。これにより、本事業は、同寺で継承される“誰でも迎えるお寺としての取り組み”とも一貫した活動という理解・協力が得られ、大光寺で開催するに至った。
---------	---



3/22「日替わり朗読会」
(出演：ひのたま王子
大光寺本堂) (左写真)

3/20～3/22「声に出て
読みたくなる展示と古
本市」(大光寺護摩堂)
(右写真)



事業の成果・効果	<p>【イベント開催】</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から、外出者の減少、小中学校の休校措置など、“幅広い世代のつながり”を集会型イベントで実現することが困難な状況となった。そのため、実際の参加や来場の代替措置として、無観客の「日替わり朗読会」、「声にして読みたくなる展示と古本市」および会場全体の様子や開催趣旨を、映像と声で紹介する動画配信（YouTube）を実施した。その結果、計画時の目標“来場”参加者数を超える、“視聴による”参加者数を獲得できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画時の目標値（参加者数：見学のみ40と朗読会累計100）：140人 ・実績値（参加者数：見学のみ40+動画視聴者累計*290）：330人 <p>*配信開始3/20から最終更新3/25まで、5日間累計</p> <p>【参考資料：総務省情報通信政策研究所 平成30年7月「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」から】年代別YouTube利用率“抜粋”</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>10代</th><th>20代</th><th>30代</th><th>40代</th><th>50代</th><th>60代</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>YouTube</td><td>93.5%</td><td>94.0%</td><td>87.4%</td><td>80.4%</td><td>64.0%</td><td>32.2%</td></tr> </tbody> </table> <p>上記資料によると、YouTube利用者は、50代以下の世代が圧倒数を占める。一方、集会型朗読会に関心が高く、実際に参加する年齢層は、概ね60代以上である。YouTubeを取り入れたことで、結果的に、より広い世代に対して、朗読イベント参加体験の機会と、当事業に関する情報を提供することができたと考える。次回の課題は、参加者アンケートの実施と、公式HP、SNS(facebook)およびYouTubeのアクセス解析等により参加者層の把握・分析を行うことである。それらの結果を反映し、改善が見える、持続的な事業活動を実施していく。</p>									10代	20代	30代	40代	50代	60代	YouTube	93.5%	94.0%	87.4%	80.4%	64.0%	32.2%
	10代	20代	30代	40代	50代	60代																
YouTube	93.5%	94.0%	87.4%	80.4%	64.0%	32.2%																
<p>事業は申請どおり実施できた</p> <p>1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>																						

自己評価	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった	主な理由（3、4と答えた場合のみ）									
		主な理由（3、4と答えた場合のみ）										
		効果を表す指標	イベント参加者数	本年度目標値	140	本年度実績値	330					
		1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 少少の変更があった 3 大幅に変更している	主な理由（2、3と答えた場合のみ）									
		理由1. イベント実施会場を貸室施設からお寺へ変更したことで、開催に必要な物品が変わったため。理由2. 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を実施したため。										
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>●事業への理解や活動支援の輪を広げるための積極的な広報活動</p> <p>活動例：HP・facebook・YouTube開設、プレスリリース、市内小中学校/文化施設へのポスター/チラシ掲示・配布、「広報はちおうじ」・市民活動支援センター広報誌、取材記事掲載（タウンニュース、ショッパー）</p>										
	その他、評価すべき点等											

今後の事業展開	令和2年度（2020年度）事業実施終了までに認知度向上と集客力を強化し、スポンサー投資効果のある事業に成長させ、1社以上の市内在企業との資金・人材・ノウハウ等の支援を得ることで、令和3年度（2021年度）からの自立運営を目指す。また、HP, Facebook および YouTube にアフィリエイト導入を検討する。これらの外部資金調達と併行し、自主事業での資金調達が可能な取り組みを行う。その一つとして、「声にして読みたくなる」古本市を、古本屋を兼ねた日常的に広い世代が集い、会話をする地域の市民交流スポットに発展させ、活動資金を回収できる事業モデルに転換する。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	小学生から百歳までを対象とした展示と朗読のイベント「あの頃の国語展～小学校国語の教科書で振り返る戦後から今」企画運営事業	
団体名	中村劇場 市民活動部会	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1 市民企画事業補助金(今回使用額)		100,000
2 その他助成金収入		
3 事業による収入()		
4 団体運営費からの繰入金		3,628
5		
6		
合計		103,628
支出の部		
1 消耗品費	ヘッドセットマイク(2,637円)、会場装飾材料(2,640円)、運営スタッフ用帽子(1,716円)、メモリー媒体(5,758円)、動画撮影用バッテリー(6,160円)、他	¥24,237
2 印刷製本費	チラシ印刷代(9,100円)、ポスター印刷代(7,586円) *配布先リスト別途添付	¥16,686
3 謝礼・報酬	ポスター・チラシデザイン料(15,000円)、開催当日運営補助アルバイト代(2名、3日分合計22,500円)	¥37,500
4 会場借上料・使用料	6月26日チラシ等デザイン打合せ会議室使用料(1,000円)、「高尾朗読まつり」開催会場使用料(10,000円)	¥11,000
5 交通費	朗読会出演者打合せ時の時間貸駐車場利用料(大沢市民文化ホール、いちょうホール他の近隣駐車場)	¥2,000
6 通信費	郵便代(1,110円)、ファックス送信費(200円)	¥1,310
7 参考書籍	「文化を育むノルウェーの図書館」(1,893円)、工藤直子「のはらうた」(1,138円)、他	¥9,902
8 雑費	500mlミネラルウォーター・お茶各10本(11月24日現地下見&朗読会出演者説明会参加者用10本、3月22日朗読会出演者用10本)	¥993
9		
合計		¥103,628

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成31年度（2019年度）市民企画補助金 交付事業成果報告書

事業名	外国人の支援・交流事業		
団体名	NPO法人 八王子国際交流センター		
事業費	117,347円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的：
	<p>日本に在留する外国人はまもなく300万人に達するであろうと言われている。日本経済、社会のグローバル化の進展に加えて、少子高齢化が労働人口の減少をもたらし、日本企業が外国人を雇用せざるをえない状況になってきている。このことが長期在留の外国人（技能実習生等）の増加が続いている要因となっている。これに加えて、2019年4月から少子高齢化による企業の人手不足対策として、外国人労働者の受け入れ拡大するために新しい在留資格である「特定技能1.2」を認めた「改正入管法」が施行された。5年間に34万人の受け入れを見込んだものである。今後ますます外国人の長期在留者の増加が見込まれる。これらの外国人が生活する地域社会及び働く企業の職場で日本人と良好なコミュニケーションを持ち、お互いの文化、習慣を理解しあい、外国人が地域、職場等の構成員（市民）として安心して、生活し、働くことが出来る環境整備が必要である。</p> <p>当団体の主たる事業である（1）日本語教育学習支援（2）よろず相談・サポート事業は上記の長期在留外国人が地域の構成員（市民・労働者）として活躍できるための環境整備の重要な事業と考える。</p>
内容：	<p>（1）日本語教育学習支援 マンツーマン方式により外国人学習者の現在の日本語能力（初心者から日本語能力検定N1取得）および学習者のニーズを重視した学習をする。また学習を通して、地域社会、日本企業職場で良好なコミュニケーションについてのアドバイスを行う。</p> <p>（2）よろず相談・サポート 相談のみだけでなく、相談の内容によっては、相談案件の解決までサポートしている。 関係諸公官庁・病院等の同伴・交渉・通訳等</p>

*事業活動の場所（会場）は東急スクエアビル11階地球プラザ会議室

事業の活動実績	4月	<p>*日本語教育学習支援 ①毎火曜日 13:00~15:00 ②毎水曜日 13:00~15:00 ③毎土曜日 15:00~17:00 *よろず生活相談・サポート・サロン活動 每第1火曜日 15:00~17:00</p>				講師 8名 学習者 15名 相談者 1名
	5月	同上	講師 9名	学習者 24名	相談者 1名	
	6月	同上	講師 10名	学習者 25名		
	7月	同上	講師 11名	学習者 25名	相談者 1名	
	8月	同上	講師 12名	学習者 20名	相談者 1名	
	9月	同上	講師 12名	学習者 26名		
	10月	同上	講師 13名	学習者 27名	相談者 1名	
	11月	同上	講師 13名	学習者 28名		
	12月	同上	講師 13名	学習者 28名	相談者 1名	
	1月	同上	講師 13名	学習者 25名	相談者 1名	
	2月	同上	講師 12名	学習者 25名		
	3月	同上	*新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、市の指導により事業を中止した。			



事業の成果・効果	<p>* 日本語教育学習支援</p> <p>最近の外国人の長期在留者の増加に伴い、日本語学習意識に変化がみられ、話すこと優先から、読み書きの必要性を認識したオールマイティな日本語学習の希望者が増えている。これは技能実習生も含み、働く外国人の増加が起因と思われる。常識的な日本語を学習し、専門、技術的資格を取得して高収入の仕事に就きたいからである。日本語能力検定受験希望者も多くなっている。</p> <p>最近話題になっている、少子高齢化が原因の日本企業の人手不足の対応には外国人に頼らざるをえないとして政府も認めている。急きよ日本国は今年4月1日から「人手不足」対策として「入管法」を改正して、外国人労働者の受け入れ拡大制度を実施した。この制度は受け入れ者には現在より厳しい日本語能力が求められるようである。このような状況を外国人が理解し、日本に長期に在留し、地域の構成員、日本企業の職場の構成員として日本人との良好なコミュニケーションの方法である日本語学習について認識を改めて、日本語学習をしていることは良い成果である。このような外国人が減少続けている日本の労働人口をカバーして日本経済の安定に貢献してくれることを期待したい。</p>
	<p>* よろづ相談・サポート活動</p> <p>外国人の長期在留は日常生活の問題を解決し、安心して生活し、働く環境整備が必要とされる。その問題解決の相談内容は複雑高度化してきている、相談活動は、受け身的な活動であり、件数は少ないが出来る限りサポート、解決まで対応することに心がけている（付添い、通訳、案内）諸公官庁・諸公的サービス機関・八王子国際協会等と相互協力システムで対応している。案件はまだ少ないが、内容は充実していると思う。</p>

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって、期待効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	実施計画書と実施報告書の活動費内訳について	1 ほとんど同じ 2 少少の変更があった 3 大幅に変更している サポート講師不足の年で懸命に努力したが、若干計画通りにならなかったこと、年度末のコロナウィルス対策による、市の学習室が利用できない等もあって、講師謝礼費に変更があった。
	その他、評価すべき点等	法人設立2年目実質の活動期間1年半であったが、思った以上の活動、実績があったと感じている。これは法人の初期体制整備に市の補助金を役立たせてもらったからであると感謝している。

今後の事業	この事業は継続事業である。日本の現状から、今後少子高齢化が続くと2019年4月から始まった外国人労働者の受け入れ拡大を目的とした新しい在留資格（特定技能1号、2号）を認めた制度また、継続して行われる技能実習生の受け入れ等外国人の長期在留者は増加していく。
	これら外国人が地域社会および企業職場で安心して、生活し、働くための環境整備として、日本語学習支援や長期在留中に発生する諸問題解決のための相談事業等が必要とされる。当法人としては現在の活動は何としても続けていく。それには、補助期間終了後、事業運営経費が確保され、財政的に安定した運営できるよう鋭意努力していく方針である。

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	外国人の支援・交流事業	
団体名	NPO法人 八王子国際交流センター	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	100,000
2	その他助成金収入	
3	事業による収入 (学習者入会金)	2,000円×27名 1,000円×6名 60,000
4	団体運営費からの繰入金	22,849
5		
6		
合計		182,849
支出の部		
1	消耗品費 横断幕 他	¥29,477
2	印刷製本費 リーフレット作成 他	¥16,280
3	謝礼・報酬 講師10人分謝礼	¥42,760
4	会場借上料・使用料	
5	交通費 別添明細書のとおり (※明細を添付してください)	¥1,630
6	通信費	
7	教材費 学習教材	¥27,200
8		
9		
10		
合計		¥117,347

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成31年度（2019年度）市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	一緒に遊ぼう！一緒に創ろう！みはらしプレーパーク@八王子		
団体名	みはらしプレーパークの会		
事業費	125,651円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 昨今、テレビゲームやスマホの普及、塾や習い事など子ども達の生活環境の変化によって、外遊びの機会が減少し、子ども達は「時間」「空間」「仲間」の3つの「間」を失いつつある。 里山や大きな公園など自然環境に恵まれた八王子であるにも関わらず、子ども達が自然に触れ合う機会や、子ども達同士が思い切り遊ぶことで育ち合う機会も少なくなつて来ている。 また、子育て世代の親においても、特に未就学児を抱える母親の孤立感や、外遊びをさせたくても一緒に遊ばせられる場が少ないなどの悩みを抱えており、子どもだけでなく親同士の交流の場としても、自然の中で一緒に楽しめる場が求められている。 そこで、豊かな自然環境に恵まれたみなみ野の宇津貫緑地を拠点に、地域の子どもが自然の中で、主体的に自由に遊べる場を作り、子ども達に遊びの大切さを伝え、子どもの遊び場を地域で見守る環境を作る。さらに、遊び場に関わる地域の大人や親が交流し繋がる機会としていく。
	内容 八王子みなみ野の宇津貫緑地を拠点に、未就学児から小学生の子供達の豊かな自然遊びを目的にしたプレーパークを開催し、広く八王子市の子育て世代の親子に体験してもらう機会を設け、プレーパークの活動のPRとともに、運営していく親たち担い手の育成を図る。 具体的な活動として 1) 宇津貫緑地で数回、プレーリーダーを呼んでプレーパークを開催し、参加者親子に外遊びの機会と親子の交流の場を設ける。 2) プレーパークの活動趣旨と運営について学ぶ講演会を開催する。

事業の活動実績	【プレーパーク開催】 ① 日時：5月26日（日）10:00～16:00 場所：宇津貫緑地 参加者：約110人 ② 日時：8月15日（木）10:00～16:00 場所：宇津貫緑地 参加者：約60人 ③ 日時：11月9日（土）10:00～16:00 場所：宇津貫緑地 参加者：約110人 その他、補助金外活動として ④ 12月1日（日）⑤2020年1月19日（日）〈共に10:00～16:00、宇津貫緑地にて〉開催。 【団体リーフレット増刷】 2019年5月、2020年3月（1,000部）。
	【プレーパーク講演会開催】 日時：2020年2月8日（土）14:00～16:30 場所：由井市民センターみなみ野分館会議室 講師：高子未乃梨（たかねみのり）氏 参加者：50名程 「プレーパークってなあに？」と題し、プレーパークについて入門的な内容の講演会を開催。プレーパークの活動趣旨と運営について学ぶ機会を設けた。講演会後には、参加者と懇談会を行った。



様式9（2枚目）

事業の成果・効果	<p>プレーパーク開催は、天候にもよるが都度100名ほどの参加者があり、「次はいつ?」「また是非参加したい」と好評の声をいただいている。毎回のように遊びに来る親子もいれば、初めて来場する親子もいる。8月は台風の中、迷いながらの開催ではあったが、開始時間前には20人ほどの親子が待っていて、雨とウォータースライダーでずぶ濡れになって遊び、歓声の絶えない1日となった。天候に関わらず、親子の外遊びの場としてのニーズを感じた。</p> <p>依然、SNSの告知により知って参加する人も多いが、口コミや友人親子を誘って遊びに来る姿もさらに増えて来たように思う。</p> <p>また、母親と子という組み合わせに限らず、父親が子どもたちを連れて遊びに来る姿や、祖父母の姿も多く見受けられるようになってきた。この場に集う人々の年齢層も広くなり、子どもの遊びを見守る大人も増え、多世代の居場所となり得ていることも感じられる。</p> <p>また、今年度は地域の学童保育にも声をかけ、土曜日の保育時間内で参加した。普段は室内で喧嘩などのトラブルが多いが、プレーパークでのびのびと遊んだ1日は、1度もトラブルがなかったことや、泥遊びや工作などに夢中になり、子ども達が普段見せない表情を見ることができた、と学童指導員の方も驚き、今後もまた参加したいと感謝の気持ちを伝えてくださった。また地域の保育園などの教育機関とも連携し、開催の周知をしてもらったり、地域の子どもの遊び環境について情報交換などをする関係性が出来た。</p> <p>2月に開催した講演会「プレーパークってなあに？」では子どもを含め多くの参加者（50人以上）があり、一般市民のほか、市職員、公園指定管理者、子育て支援者、NPO職員、幼稚園関係者など多くの方にプレーパークの活動趣旨や歴史、運営方法などを知っていただく機会となった。講演会後の座談会には、今後八王子市においてプレーパークの活動を広げていくというテーマのもと、様々な立場の方が意見を交わす時間を設け、協力者も募ることが出来、今後の活動にとても有意義な機会を持つことが出来た。</p>

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた	2 概ねできた	3 あまりできなかった	4 ほとんどできなかった
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）				
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた	2 概ねできた	3 あまりできなかった	4 ほとんどできなかった
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）				
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	効果を表す指標	この場を一緒に創る協力者を募り、サポートとして登録してもらう	本年度目標値	5 本年度実績値
	その他、評価すべき点等	1 ほとんど同じ	2 少少の変更があった	3 大幅に変更している	
主な理由（2、3と答えた場合のみ）					
印刷費について。チラシ告知よりSNSでの配信を重視したので、印刷費はおさえられた。					
開催を重ねていくことにより、プレーパーク開催時は、準備や片づけ、焚き火の番、子どもの見守りなどをスタッフのみならず、参加者が進んで行ってくれる雰囲気が出来てきた。「一緒に創ろう！」という当プレーパークの趣旨について理解が深まった結果と捉える。また2月の講演会ではなかなか知る機会がないプレーパークの活動内容やこの場が必要とされる時代背景などについて、広く知っていただく契機となった。					

今後の事業展開	市内でプレーパークについての認知度は上がってきたと感じるが、まだ知らない人も多くいる。「こんなに面白いところがあるのかということを知り、是非また親子で参加したい」「もっと沢山参加出来たらいいのに」という声を多く聞き、今後は開催回数を増やし、引き続き活動を継続したいと考える。また、市内の他の団体などとも連携し、宇津貴緑地以外での場所でも開催を試み、より多くの八王子の親子にプレーパークを体感してもらう機会を増やしたい。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	一緒に遊ぼう！一緒に創ろう！みはらしプレーパーク@八王子	
団体名	みはらしプレーパークの会	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1 市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2 その他助成金収入		
3 事業による収入 ()		
4 団体運営費からの繰入金		5,000
5 寄付・カンパ	プレーパーク開催時カンパ金 (5/26,8/15,11/9,12/1,1/19 5回分)、12/1煎餅売上	37,536
6		
合計		142,536
支出の部		
1 消耗品費		¥9,448
2 印刷製本費		¥17,728
3 謝礼・報酬		¥65,000
4 会場借上料・使用料		¥3,600
5 保険料	社協レクリエーション保険(3,978×2回分、3,980×1回分)	¥11,936
6 備品購入費		¥17,939
7		
8		
9		
10		
合計		¥125,651

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成31年度（2019年度）市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	スマートフォンアプリを使った広報活動		
団体名	八王子動物愛護会ネットワーク		
事業費	100,000円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的
	<p>本事業は次を目的とし実施する。</p> <p>①譲渡会の開催、啓蒙・啓発活動、地域猫相談など、当会の活動をより円滑に実施すること。</p> <p>②新たな譲渡猫を新飼主候補者へ一斉配信し、個別にやりとりできる仕組みを構築する。</p> <p>③アプリで賛助/協賛企業を広報することで店舗や企業の団体会員を増すこと。</p> <p>また、可能な限りにおいて、次の検討も視野に入れる。</p> <p>④災害時の動物同行避難時における避難所でのアプリ活用の可能性の検討。</p> <p>⑤譲渡犬猫の情報管理と、団体間（動物愛護活動団体および保健所）情報共有・連携を解決するツールの一部として活用可能かの検討。</p>
内容	<p>昨今、PR手段としてスマホアプリを使った広報が注目されるようになった。また、譲渡犬猫の情報管理と団体間（動物愛護活動団体および保健所）情報共有・連携が課題となっている。そこで、現在のチラシ、HP、Facebook、LINE@公式アカウントでのPRに加え【スマホアプリによる広報】を導入すると共に、情報共有・連携ツールとしての活用も可能か検証する。アプリの課題はインストールであるため、本事業では、高尾山や市の各種イベント（八王子まつり、八王子 Shortfilm 映画祭、HACHIDORI、みづき通りフェスティバル）で既に導入され、東京タワー・増上寺、浅草エリアにも導入されているeGuideアプリを選定し、次の広報を行う。</p> <p>①HP/facebookでオムニチャネル配信している情報を、GPS/beacon機器を活用し、譲渡会場や譲渡猫のケージ毎にユーザーのスマホへ情報をPUSU配信。</p> <p>②当会→新飼主候補者はLINE@経由、新飼主候補者→当会はアプリ経由と、ツールの強みを活かした運用。</p> <p>③譲渡犬猫の情報管理と団体間情報共有・連携のためのDBサーバシステム構築した際、その情報配信も行うことが可能。</p>

事業の活動実績	2019年8月30日	ガイド完成（納品） HP/facebookでオムニチャネル配信している情報を、GPS/beacon機器を活用し、譲渡会場や譲渡猫のケージ毎にユーザーのスマホへ情報をPUSU配信を開始。
	2019年9月1日、28日	定例会でガイド利用の勉強会開催（第一回）
	2019年10月13日	キャットビレッジフェスティバル（横山町ステージ）
	2019年10月20日	譲渡会（八王子市保健所駐車場）
	2019年11月10,17,24日	譲渡会（八王子市保健所駐車場）
	2019年12月1日	小さな命の写真展
	2019年12月14日	定例会でガイド利用の勉強会開催（第二回）
	2019年12月8,15日	譲渡会（八王子市保健所駐車場）
	2020年1月19,26日	譲渡会（八王子市保健所駐車場）
	2020年2月2,9日	譲渡会（八王子市保健所駐車場）

※以降は新型コロナウィルス感染症拡散防止のため譲渡会を中止

アプリできました！

無料
FREE

譲渡猫一覧
譲渡会スケジュール
お知らせ など…

譲渡猫のケージに近づくと
その子の情報も表示！

更に、八王子まつりを始めとした様々な
地元イベントや高尾山、御岳山、東京
タワー、上野寺、浅草、小田原城など
様々なガイドに切り替わり使えます！

ご利用の手順

- 1 インストール＆アプリ起動
App Store Google Play
eGuide [検索]
- 2 [MENU]→[ガイド切替]
- 3 [八王子動物愛護会ネットワーク HAPnet]選択 >[OK]



YouTube 動画 URL

①通常の動き

<https://youtu.be/X8zwXQOSrfQ>

②展示譲渡猫に近づいた時の動き

<https://youtu.be/k5wGZ4WowwA>

様式9（3枚目）

事業の成果・効果	<p>他の団体間（動物愛護活動団体および保健所）情報共有・連携を最終目標に設定し、最初のステップとして、当会でアプリを導入し効果の確認や課題の洗い出しを行った成果と効果は次の通りです。</p> <p>＜本事業により期待していた効果と結果（（2）事業の目的・内容の目的①～⑤に対応）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保護主になることを考えている方が当会の情報へ簡単にアクセスできるようになった。 ② 会→新飼い主候補者はガイド、新飼い主候補者→会は LINE@と特徴を生かした活用可能であることを検証することができた。 ③ 当会の経済的課題を解決し活動を継続できる基盤を作ることができた。 ④ 災害時の動物同行避難時における避難所でのアプリ活用の可能性については継続した検討が必要であることがわかった。 ⑤ 謾渡犬猫の情報管理と、団体間（動物愛護活動団体および保健所）情報共有・連携を解決するツールの一部として活用することが可能であることがわかった。 <p>＜目標値と実績＞</p> <p>目標値：1,000 ページビュー</p> <p>実績：2,832 件のログデータ</p> <p>➤ ページビュー計測ができなかったため、ガイド利用により収集できたログデータ数を報告します。それを基に閲覧場所や閲覧情報など基礎データを得ることができました。（右図参照）</p>
	<p>例) 利用者ログからの情報提供場所分析</p>

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた	2 概ねできた	3 あまりできなかつた	4 ほとんどできなかつた
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）				
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた	2 概ねできた	3 あまりできなかつた	4 ほとんどできなかつた
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）				
	（応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	効果を表す指標	ページビューでしたが、計測できなかつたためログ件数	本年度目標値	1,000PV
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ	2 少少の変更があつた	3 大幅に変更している	
	主な理由（2、3と答えた場合のみ）				
	その他、評価すべき点等	会員の中ではスマートフォンやアプリに苦手意識のある人が多いため、会の中で勉強会を2度実施し、苦手意識の克服に努めました。またツールの特徴を踏まえ HP、LINE@やfacebookといった異なるメディアで情報を集配信することが大切であることがわかりました。			

今後の事業展開	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本事業の自立運営を念頭に、本仕組みを活用した賛助・協賛企業や店舗を開拓し、運用費用を捻出できるようにする予定です。 2. 本仕組みを利用し、他の団体（動物愛護活動団体および保健所）と情報共有・連携することが可能であることがわかったので、他の団体との情報共有・連携について具体的な検討を進めたいと考えています。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	スマートフォンアプリを使った広報活動	
団体名	八王子動物愛護会ネットワーク	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1 市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2 その他助成金収入		
3 事業による収入 ()		
4 団体運営費からの繰入金		
5		
6		
合計		100,000
支出の部		
1 消耗品費		
2 印刷製本費		
3 謝礼・報酬		
4 会場借上料・使用料		
5 交通費		
6 通信費		
7 ガイド製作費	スマートフォンアプリを使った広報ツールの制作	¥100,000
8		
9		
10		
合計		¥100,000

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成31年度（2019年度）市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地域内の小規模居場所の運営		
団体名	きよぴー		
事業費	1,017,289円	補助金額	508,000円

事業の目的・内容	目的 家を出なくなることで「フレイル」状態に入って行くことを少しでも防ぐため、町内にきよぴーの小規模活動拠点（サテライト）を設置し、身近な住民間の交流の場を広げ、お互いできる範囲の支え合いを行いながら、元気で日常生活がおくれるエリアを広げる。
	内容 きよぴーで活動してきた食の提供や地域の居場所運営を地域内に分散してサテライト（小規模交流拠点＝居場所）を4か所設置し運営し、希薄になった地域の身近な人たちとの交流を復活し、見守りと助け合いをしやすい環境を作る。

事業の活動実績	各サテライトの参加された人たちに、オーナーが中心的に対応出来よう2人のスタッフをつけ、お茶の賄などを対応してもらった。オーナーも気を使わず参加者との話に専念できた。
	各サテライトの活動期間
	オリーブハウス：5月～9月 3回開催 令和2年2月からオリーブ食堂として運営。
	ひょうたんカフェ：5月～令和2年2月 16回開催
	中入の間： 8月～12月 7回開催
	喫茶去：6月～令和2年3月 13回開催
	ゆき姉茶ん：9月～令和2年2月 12回開催
	あん庵：令和2年2月 2回開催
	キッチンオレンジ：令和2年2月～3月 2回開催



ひょうたんカフェに集まった方々



喫茶去に集まった方々

様式9（2枚目）

事業の成果・効果	成果と効果 事業を進めた結果見えてきたことは①オーナーが元気になる ②家族の協力・交流が出るが現れ、高齢で一人暮らしの人たちがたどり易いフレイルの心配が遠のくきっかけになるのではと感じた。 更にサテライトを運営による地域としての変化については、桜美林大学の野村ゼミの協力を得て「地域エンパワーメント」の視点でアンケート調査、サテライトの現場の聞き込み調査等を行ったので、添付した報告書を参照。 特にオーナーやスタッフの方々はサテライトのシンポジウムに参加したことで、活動に対して意欲の高揚につながったという。 添付資料「きよぴーサテライトカフェの活動報告」、「きよぴー」アンケート調査の報告」を参照。 資料編 きよぴーサテライトシンポジウム きよぴーサテライトシンポジウムの記録 きよぴーサテライトシンポジウムと桜美林ガーデンヒルズ見学アンケート

自己評価	事業は申請どおり実施できた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた 主な理由（3、4と答えた場合のみ）	2 概ねできた	3 あまりできなかった	4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた 主な理由（3、4と答えた場合のみ）	2 概ねできた 自宅を開放して小規模な地域の居場所を提供することに対し、運営内容では予想以上の効果があった。内容としても良い雰囲気で毎回会話がはずんだ。	3 あまりできなかった	4 ほとんどできなかった
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	効果を表す指標	参加人員	本年度目標値 530	本年度実績値 752
		1 ほとんど同じ 主な理由（2、3と答えた場合のみ）	2 少少の変更があった サテライトの開始時期がオナーの事情で遅れたところもあり、予定した回数の半分程度にとどまった事。 調査費と改修費や什器備品費が少なくてすんだ事	3 大幅に変更している	
	その他、評価すべき点等		各サテライトに対し応援スタッフを選ぶに当たりオナーに合ったスタッフを選んだことがカフェの運営をスムーズにしている。		

今後の事業展開	多くのサテライトが運営出来たことで、地域内の交流がフランクなものになり、自然と社会参加が出来、地域内でフレイルになる人を出来るだけ出さない様、地域で培った交流法を活かし支えたい。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	地域内の小規模居場所の運営	
団体名	きよぴー	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1 市民企画事業補助金 (今回使用額)		508,000
2 その他助成金収入		
3 事業による収入	参加費	28,900
4 団体運営費からの繰入金		480,389
5		
6		
合計		1,017,289
支出の部		
1 消耗品費		¥9,883
2 印刷製本費	各サテライト(小規模居場所)でチラシの製作・配布	¥20,000
3 謝礼・報酬	4、会場使用料含む	¥137,000
4 会場使用料		
5 交通費		
6 通信費		
7 汁器・備品・改修		¥443,430
8 調査費	サテライト(小規模居場所)の調査・シンポジウム	¥387,276
9 材料費(食材)	各サテライト活動時の食材他	¥19,700
10		
合計		¥1,017,289

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成31年度（2019年度）市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	「八王子キャットビレッジフェスティバル」		
団体名	八王子キャットビレッジ製作委員会		
事業費	2,013,352円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	目的 八王子市は学園都市として全国に知られ、クリエイティブな学生や市民が多く在学・在住しており、コンテストを開催することによって作品発表の機会を増やすことができる。一方、八王子市の「飼い主のいない猫（野良猫）の不妊去勢手術助成金」によって殺処分される猫は減少傾向にあるが、適正飼育の啓蒙活動はまだ不足であり飼い主のいないノラ猫問題や飼い主のいる多頭飼育問題が住民同士のトラブルになる事例が多々みられる。また、助成金で手術費用は一部軽減されたが感染予防のためのワクチン接種費用は大きな負担となり、未接種の場合は猫特有の感染症を発症し地域に蔓延させることがある。「猫」というテーマに絞ってフェスティバルを開催することによって「猫」に関心のある市民や観光客が集まり、多くの人に学生の作品を知ってもらう場の提供、作品の商品化による利益で継続した適正飼育の啓蒙活動を行うことが可能となる。
	内容 「八王子キャットビレッジ」とは猫に関心のある市民や学生、ショップ、レストラン、ボランティア、獣医師などが集う場所です。今回応募した「八王子キャットビレッジフェスティバル」（以下フェス）の事業内容は ①猫をテーマとした作品の大学生および市民向けコンテストの開催 ②応募作品の表彰式と入賞作品の商品化 ③一般参加者や入賞作品による猫をモチーフとした作品のマーケットの開催 ④飼い主のいない猫の譲渡会、適正飼育や動物愛護についての講演会 ⑤フェスの利益全額を使用した地域猫へのワクチン接種と入選作品の商品化・販売権の貸与による継続的な地域猫支援

事業の活動実績	9月 第1回八王子キャットビレッジコンテスト
	9月 コンテスト優秀作品の商品化

10/13 第1回八王子キャットビレッジフェスティバル

1月 第2回八王子キャットビレッジコンテスト

2月 コンテスト優秀作品の商品化

2/22 第1回はちおうじニャンダフルマルシェ 213匹へのワクチン接種(@3千円)

3/29（中止）第2回八王子キャットビレッジフェスティバル



様式9（2枚目）

事業の成果・効果	<p>◆9月 第1回八王子キャットビレッジコンテスト 応募49作品：入選5点</p> <p>◆9月 コンテスト優秀作品の商品化 都まんじゅう1種類@40円 x200個、完売 デザインチョコ4種類@500円 x60セット、完売 マスキングテープ4種類 x100個製造、販売数@500円 x50個</p> <p>◆10/13 第1回八王子キャットビレッジフェスティバル</p> <p>◆1月 第2回八王子キャットビレッジコンテスト 応募19作品：入選0点</p> <p>◆2月 コンテスト優秀作品の商品化 小風呂敷き2種類 319枚製造、販売数@1200円 x315枚</p> <p>◆2/22 第1回はちおうじニヤンダフルマルシェ 都まんじゅう1種類@40円 x1000個、完売 デザインチョコ4種類@500円 x35セット マスキングテープ4種類@500円 x30個</p> <p>◆3/29(中止)第2回八王子キャットビレッジフェスティバル</p> <p>◆ワクチン接種数 213匹 x@3000円 による地域猫の集団免疫の獲得</p>

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた	2 概ねできた	3 あまりできなかった	4 ほとんどできなかった						
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）										
	第2回八王子キャットビレッジフェスティバルは新型コロナウイルスの影響により中止になり、同コンテストへの応募作品も低調だったが、事業修正して、他の商品化を実施した。										
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた	2 概ねできた	3 あまりできなかった	4 ほとんどできなかった						
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）										
優秀な作品の応募およびスタッフデザイナーによる11種類の商品化により、訴求力のある商品が販売できた。ワクチン接種は総数213件、19団体・個人が実績である。											
<table border="1"> <tr> <td>効果を表す指標</td> <td>①コンテスト応募作品 ②ワクチン接種数</td> <td>本年度目標値</td> <td>①100件 ②200匹</td> <td>本年度実績値</td> <td>①68件 ②213匹</td> </tr> </table>						効果を表す指標	①コンテスト応募作品 ②ワクチン接種数	本年度目標値	①100件 ②200匹	本年度実績値	①68件 ②213匹
効果を表す指標	①コンテスト応募作品 ②ワクチン接種数	本年度目標値	①100件 ②200匹	本年度実績値	①68件 ②213匹						
<table border="1"> <tr> <td>1 ほとんど同じ</td> <td>2 少少の変更があった</td> <td>3 大幅に変更している</td> </tr> </table>						1 ほとんど同じ	2 少少の変更があった	3 大幅に変更している			
1 ほとんど同じ	2 少少の変更があった	3 大幅に変更している									
主な理由（2、3と答えた場合のみ）											
当初の実施計画書で予定したイベント10/13は台風の影響により縮小、3/29は新型コロナの影響により中止、となったが活動内容を追加修正してほぼ修正内容に沿った内容になった。											
その他、評価すべき点等											
はちおうじニヤンダフルマルシェを追加実施 地域猫へのワクチン接種による 集団免疫化 が地域の感染症の発生を抑制 東京工科大学メディア学部学生と演習にて商品化のコラボを実施 ショッパー八王子版、よみっこに活動が写真入りで掲載											

今後の事業展開	現状では、大学生も社会人も生活困窮度が高まっていくと予想されるため、デザイナーの登用活動としての八王子キャットビレッジコンテストは継続実施していきたい。また、随時のインドアイベントの開催には不安要素があるため、アウトドアイベントおよびネットヘシフトすることにより、啓蒙活動および物品販売を実施していく。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書		
事業の名称	「八王子キャットビレッジフェスティバル」	
団体名	八王子キャットビレッジ製作委員会	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1 市民企画事業補助金 (今回使用額)		1,000,000
2 その他助成金収入		
3 事業による収入 ()	コンテスト応募千円x5、チョコ500円x60セット、 テープ500円x50個、まんじゅう40円x200個、出展料 千円x5、まんじゅう40円x1000個、チョコ500円x35 セット、ブース出展3千x7、テープ500円×30個 風 呂敷1200円x315枚	544,500
4 団体運営費からの繰入金		
5 寄付金	1口1000円x460件、会員寄付8852円	468,852
6 協賛金		
合 計		2,013,352
支出の部		
1 消耗品費	のぼり幡製作費19030円、ブルーシート5532円、キャ リーカート2台11844円他	45,974
2 印刷製本費	製作費・印刷費83345円、コンテストチラシ15590円	98,935
3 謝礼・報酬	会議謝金、審査会謝金、イベント準備謝金、イベン ト謝金	249,564
4 会場借上料・使用料	テント2台12454円、1台7884円、3台23652円、レンタ ル搬入86600円、会場費11000円	141,590
5 交通費	別添明細書のとおり (※明細を添付してください)	
6 通信費		
7 ワクチン接種費	ワクチン接種補助3000円×203匹、2000円×11匹、 3500円×2匹、計216匹	638,000
8 グッズ制作委託費	マスキングテープ206800円、焼印35000円、チョコ 36167円、まんじゅう7000円、風呂敷型11000円、ま んじゅう35000円、チョコ36836円、風呂敷デザイン 33000円、風呂敷319枚作成189486円	689,289
9 WEBサイト設置・デザ イン、更新謝金	WEBサイト制作30000円、管理6月～4か月48000円、 管理10月～3か月36000円、管理1月～3か月36000円	150,000
10 行事保険		
合 計		2,013,352
※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。		

平成31年度（2019年度）市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地産地消地活の日本酒「高尾の天狗」酒米つくりプロジェクト		
団体名	NPO法人 はちぶろ		
事業費	2,188,106円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	目的 地元の農産物の周知・消費喚起と、観光農業など農業を中心とした地域の産業振興 一連の農業体験及び酒造り体験を通じて、加住地区高月町で生産された高月清流米や、パッショングルーツ、幻の豚肉東京エックス等の地域の特産品の認知度を上げるとともに、新商品の試食会等を通じ新たな市内消費を喚起するとともに、観光農業の可能性も探るなど、本市の新たな産業の振興に資する。
	内容 高月町の田園風景を舞台に、一般市民に酒米作りから清酒「高尾の天狗」が出来るまでの一連の工程を体験してもらい、新たな農業の担い手の確保を図るとともに、本市の農産・特産品を周知し、新商品の開発と試食会等も行うことで、地域農業の維持・振興と新たな市内産業の振興を図る。 【開催概要】 酒米作りから清酒製造の一連の工程（田植え・草刈り・稻刈り・等級検査・酒蔵見学（長野県諏訪市）・新酒試飲会）を専門家である農家、杜氏、製造業経営者の指導の下、通年で体験する。 【対象者】 市内在住の一般市民を中心に延べ約500人の参加を見込む。

事業の活動実績	・2019年6月9日 第一弾 高月町田園にて田植えイベント開催。高尾の天狗の原料となるお米作りのための田植え作業。約150名の方に参加。
	・2019年7月7日 第二弾 草刈りイベントの開催。約40名の方に参加。田植えをした苗の周りに生える雑草を取る非常に地味な作業。

・2019年9月22日 第三弾 稲刈りイベントの開催。約150名の参加者でお米の収穫作業。

・2020年1月23日 第四弾 長野県上諏訪の醸造所、舞姫にて仕込み見学研修を開催。約40名参加。



様式9（2枚目）

事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 市内にこのような田園地帯があったことを改めて感動、認識をしてもらえた。 八王子市民参加型の上、お子様も沢山参加。蛙を取ったり、虫を取ったりしながら普段経験のできない楽しさを味わってもらえた。 作業を終えた後の昼食会に高尾の天狗の試飲、出展企業による八王子の野菜を用いた料理を食べていただき、高月町の農作物の素晴らしさを知ってもらえた。 大学生、企業の方々がボランティアとしてお手伝いをいただき、イベントの魅力を様々な分野で活躍している方への参考に繋がった。 仕込み見学研修を終え、お米作りから日本酒ができるまでの一連の工程を理解してもらい、六次産業化の意識改革につながった。 					
	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかつた 4 ほとんどできなかつた</p> <p>事業は申請どおり実施できた 主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>					
	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかつた 4 ほとんどできなかつた</p> <p>事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた） 主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>効果を表す指標</th> <th></th> <th>本年度目標値</th> <th></th> <th>本年度実績値</th> <th></th> </tr> </thead> </table> <p>1 ほとんど同じ 2 少少の変更があつた 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 2019年は台風が多く、予定100石分の米の収穫が94石と不足してしまった。よって多少だが酒造りにも影響が出た。</p>	効果を表す指標		本年度目標値		本年度実績値
効果を表す指標		本年度目標値		本年度実績値		
<p>各イベントに関し、毎回同じ方々の参加ではなく新しい方々の参加が増えるようになった。それだけ関心が高まってきている証拠かと思う。</p> <p>早く高月で酒蔵を作つてほしいとの声が多くなりプレッシャーにもなつてゐるが、期待に応えられるよう毎年この事業を続け行くことで少しづつ近づけて行きたい。</p>						

自己評価	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかつた 4 ほとんどできなかつた</p> <p>事業は申請どおり実施できた 主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>					
	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかつた 4 ほとんどできなかつた</p> <p>事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた） 主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>効果を表す指標</th> <th></th> <th>本年度目標値</th> <th></th> <th>本年度実績値</th> <th></th> </tr> </thead> </table> <p>1 ほとんど同じ 2 少少の変更があつた 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 2019年は台風が多く、予定100石分の米の収穫が94石と不足してしまった。よって多少だが酒造りにも影響が出た。</p>	効果を表す指標		本年度目標値		本年度実績値
効果を表す指標		本年度目標値		本年度実績値		
<p>各イベントに関し、毎回同じ方々の参加ではなく新しい方々の参加が増えるようになった。それだけ関心が高まってきている証拠かと思う。</p> <p>早く高月で酒蔵を作つてほしいとの声が多くなりプレッシャーにもなつてゐるが、期待に応えられるよう毎年この事業を続け行くことで少しづつ近づけて行きたい。</p>						

今後の事業展開	お陰様で、市内で高尾の天狗の知名度は上がってきた。だがより一層の販売量の増加は急務。
	<p>原料のお米のコストが思った以上にかかっている。</p> <p>今後は、高月の契約農家さんとの打合せを重ね、米の質、収穫量、食米から酒米への切り替え、反数の増加などを交渉していきたい。</p>

市民企画事業補助金交付事業収支決算書		
事業の名称	地産地消地活の日本酒「高尾の天狗」酒米つくりプロジェクト	
団体名	NPO法人はちぶろ	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1 市民企画事業補助金 (今回使用額)		1,000,000
2 その他助成金収入		
3 事業による収入 ()	【田植え】参加会費 (363,000) 、【草刈り】参加会費 (17,000) 、【草刈り】Tシャツ販売代 (16,000) 、【稲刈り】参加会費 (169,500) 、【稲刈り】Tシャツ販売代 (16,000) 、【蔵研修】参加会費 (279,500)	861,000
4 団体運営費からの繰入金		157,440
5 寄付金		
6 協賛金		
合計		2,018,440
支出の部		
1 消耗品費	【田植え】出店で使用した食材代 (8,000) 、【田植え】備品代 (4,908) 、【田植え】氷代 (26,160) 、【田植え】子供お菓子代 (27,899) 、【草刈り】子供お菓子代 (4,234) 、【草刈り】氷代 (3,844) 、【稲刈り】出店で使用した飲料代 (14,787) 、【稲刈り】氷代 (16,469) 、【稲刈り】ごみ袋 クリアフォルダー他 (23,787) 、【稲刈り】子供お菓子代 (12,762)	142,850
2 謝礼・報酬	【田植え】出店者謝礼金 パンカツ協会 (8,929) 、【田植え】手伝い謝礼金3,000×スタッフ6名 (18,000) 、【田植え】手伝い謝礼金20,000×舞姫6名 (120,000) 、【草刈り】手伝い謝礼金3,000×スタッフ5名 (15,000) 、【草刈り】手伝い謝礼金20,000×舞姫6名 (120,000) 、【稲刈り】出店者謝礼金 パンカツ協会 (8,929) 、【稲刈り】出店者謝礼金 中町食堂 (53,546) 、【稲刈り】振込手数料 (660) 、【稲刈り】出店者謝礼金 開拓史 (46,000) 、【稲刈り】手伝い謝礼金3,000×スタッフ5名 (15,000) 、【稲刈り】手伝い謝礼金20,000×舞姫6名 (120,000) 、【稲刈り】前日設営スタッフの弁当代 (10,530) 、【稲刈り】前日設営スタッフの飲み物代 (3,582) 、【蔵研修】手伝い謝礼金3,000×スタッフ5名 (15,000) 、【蔵研修】手伝い謝礼金10,000×舞姫10名 (100,000)	655,176

3	会場借上料・使用料	【田植え】バス料金（86,400）、【田植え】振込手数料（648）、【田植え】かき氷器レンタル料（5,400）、【田植え】テント使用料（10,000）、【田植え】テーブル使用料（3,000）、【田植え】集会所使用料（10,000）、【田植え】ガスとガス器具のレンタル料（43,200）、【草刈り】イス使用料（3,000）、【草刈り】レンタカーダ（10,800）、【稻刈り】バス料金（86,400）、【稻刈り】ガスとガス器具のレンタル料（58,860）、【稻刈り】テーブル使用料（3,000）、【稻刈り】集会所使用料（10,000）、【稻刈り】テント使用料（10,000）、【蔵研修】バス料金と高速料金（164,000）、【蔵研修】振込手数料（660）、【蔵研修】研修会場使用料（30,000）	535,368
4	通信費	【稻刈り】切手代	4,510
5	保険料	【田植え】傷害保険料（5,250）、【草刈り】傷害保険料（1,850）、【稻刈り】傷害保険料（5,250）	12,350
6	備品費	【田植え】鍋1個代（16,835）【稻刈り】クーラー1個（8,777）、【共通】ラミネーターとフィルム代（43,280）、【共通】テント4個（768,960）	837,852
合 計			2,188,106

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成31年度（2019年度）市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地域の自然資源を活かした「食」と「アート」の里山マーケット事業		
団体名	特定非営利活動法人小津俱楽部		
事業費	767,711円	補助金額	500,000円

事業の目的・内容	目的
	<p>【地域の文化的資源（里山資源）の掘り起こしと活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活に密着した生活文化資源を掘り起こし、新たな地域資源として活用した「コミュニティビジネス」としての可能性について検討する。 <p>【都市部と中山間地域における人的交流の促進と新たなネットワークの構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の都市的特徴である都市部と中山間地域を活かし、それぞれの住民間で、SNS等を活用した新たな人的ネットワークを構築するとともに、本市にふさわしいライフスタイルを探る。 <p>【多様な主体のまちづくりへの参画による地域活力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少と高齢化が進む市街化調整区域の集落において、地域外の関心のある人々や専門家などの多様な主体が参画したまちづくりの実現により、地域活力の向上を図る。
内容	<p>【事業概要】 小津町から恩方地区全体の地域振興に取り組む特定非営利活動法人小津俱楽部が、「八王子の“おいしい”と私達の暮らしを繋げたい」をコンセプトに、「食」を切り口として、「アート」に触れる青空マーケット「FARMART」を企画運営するFARMART実行委員会の協力により、「小津里山マーケット」を自ら開催し、新たなビジネスコンテンツ創出と、地域で稼ぎ自立する力の充実を図る。</p> <p>【実施内容】 里山マーケットでは、市内飲食店やクリエイター約10店舗が集まり地域食材による料理やアート作品等を販売する。基本的に小津俱楽部が主催・運営を行うが、企画・広報等に係るデザインについては、FARMARTが実施するなど、小津俱楽部による自立運営を可能とするよう支援を行う。</p> <p>【企画案】 店舗販売の他、野菜収穫体験、薪割・木工体験等、地域資源を活かした自然体験コンテンツを用意することで、他の同様なマーケット事業との差別化・高付加価値化を図る。</p>

事業の活動実績	・事業活動実施日 令和元年11月24日（日）
	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「食」のWS ピザ焼き体験 参加者 120名 豚汁・ハーブティ販売 参加者 100名 ・テーマ「畠」のWS 野菜の収穫体験 参加者 30名 野菜販売 参加者 80名 ・テーマ「森」のWS シイタケの植菌体験 参加者 30名 苔玉つくり体験 参加者 40名 木工製品販売 参加者 50名



様式9（2枚目）

事業の成果・効果	○地域側（主催者側）の効果 【地域まちづくりの促進】 延べ200人以上のスタッフが運営に参加し、新たなまちづくり協力者も確保することができた。 【地域文化の継承】 シイタケ栽培などの地域文化が、スタッフ・参加者を通じて、新たな担い手が増えた。 【自立的なまちづくりの可能性が向上】 「地域で稼ぐ」手法が試行確認され、コミュニティビジネスとしての可能性向上が認識できた。 ○市民側（参加者側）の効果 【里山資源の魅力の認知】 自然資源を活用した生活スキルの体験により、里山資源を認知することができ、都市での生活が豊かになった。 【市独自のライフスタイルの実現】 人的ネットワークの構築により、「都市」「農村」をつなぐ「里山暮らし」の可能性が出てきた。 ○行政側の効果 「沿道集落のまちづくり」並びに「シティプロモーション」の事業効果が向上した。
	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）	
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	
	効果を表す指標 参加者 300人 売上 万円 本年度の目標値 参加者 300人 売上 45万円	
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 少少の変更があった 3 大幅に変更している	
	主な理由（2、3と答えた場合のみ）	
その他、評価すべき点等	・事業を通じて、小津倶楽部の活動をさらに周知することができ、まちづくりの協力者もさらに増える感触があり、次年度以降に大きな期待を持つことができた。 ・出展者へのフォローアップを行い、前日の雨天により当日午前の客足は鈍かったが、ほぼ予定の集客があり次回のイベントにも出店したいとの回答を得られた。	

今後の事業展開	・本事業で実施したWSの手法及び備品機材等を活用し、本事業を小津倶楽部の自主事業として継続して取り組み、事業活動を通じて地域文化の継承と新たな担い手の確保、人的ネットワークの構築を図る。 ・事業収益については、地域の空き家・耕作放棄地再生に再投資し、地域課題の解決と地域活力の向上に継続的に取り組む。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		地域の自然資源を活かした「食」と「アート」の里山マーケット事業	
団体名		特定非営利活動法人小津俱楽部	
項目	内容・内訳		決算額(円)
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		500,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入	協力店舗からの出店料(20店舗 X 5,000円)及び小津俱楽部としての店舗収入(約100,000円)	249,200
4	団体運営費からの繰入金	NPOの会計から自己資金を繰り入れる	18,511
5			
6			
合計			767,711
支出の部			
1	消耗品費	コップ、紙皿等	91,132
2	印刷製本費	ポスター、フライヤー印刷、WEBページ作成等	146,000
3	謝礼・報酬	広告企画デザイン費等	154,000
4	備品購入費	簡易テント等イベント開催に伴う備品購入費	208,879
5	交通費	バス・大型タクシーチャーター費等	62,700
6	保険料	イベント傷害保険等	
7	人件費	交通誘導等アルバイト雇用費等	105,000
8			
9			
10			
合計			767,711

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

5 交付団体連絡先一覧

区分	団体名	代表者名	連絡責任者		
			氏名	住所	電話番号
活動支援部門	八王子わんわんクラブ	野下 由希子	野下 由希子	八王子市元八王子町	080-5525-1503
	特定非営利活動法人 かぶかぶ山のようちえん	小川 佳那恵	井上 あずみ	八王子市久保山町	050-3390-0613
	館ヶ丘自治会	高瀬 智規	塚田 賢一	八王子市館町 館ヶ丘団地	042-663-5679
	とうゆう会	田中 英俊	田中 英俊	八王子市南大沢	090-1103-8497
	グリーンヒルズたより 編集部	西岡 澄子	西岡 澄子	八王子市寺田町	090-7836-8282
	中村劇場 市民活動部会	中村 章江	中村 章江	八王子市西寺方町	042-651-4203
	NPO法人 八王子国際交流センター	森屋 光	森屋 光	八王子市東浅川町	042-664-8637
	みはらしプレーパークの会	北見 みゆき	北見 みゆき	八王子市七国	090-8463-6465
	八王子動物愛護会 ネットワーク	飯田 公司	飯田 公司	八王子市南大沢	070-6980-3237
事業実施部門	きよびー	白鳥 勝彦	片貝 剛	八王子市清川町	042-627-7270
	八王子キャットビレッジ 製作委員会	千種 康民	千種 康民	八王子山田町	042-637-2111
	NPO法人はちぶろ	鶴田 隆一	鶴田 隆一	八王子市元横山町	042-642-1542
事業発展部門	特定非営利活動法人 小津俱楽部	前原 教久	前原 教久	八王子市小津町	042-651-6639

令和元年度(2019年度)交付
市民企画事業補助金
成果報告書



令和2年(2020年)8月発行

発行／八王子市
企画・編集／市民活動推進部協働推進課

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号
電話 042-620-7401 FAX 042-626-0253
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp
URL <https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html>